

科目	現代文B					教科書名	「新編 現代文B 改訂版」大修館書店	
履修学年	3年	単位数	3	必選	必修	副教材	新総合図説国語・新訂版(東京書籍)、漢字ボックス(浜島書店)	
担当者	鮫島 のぞみ 山林 進							
教科目標	学習を通し「読む」「書く」「話す・聞く」の力の向上を目指す。 社会生活に必要な言語能力を習得する。							
授 業 計 画								
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定 時数	
4月	随想 大江健三郎 「どんな人になりたかったか」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を丁寧に読み取り、自分を振り返らせる。 ・筆者の他の作品を紹介し、読書活動につなげる。 ・漢字・語句を習得させる。 				どんな人になりたかったかを思い出し、また将来どんな人になりたいかを考え、記述できる。	36	
5月	小説 内海隆一郎「待合室」	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像と心情を読み取らせる。 ・山崎さんと約束した江田先生の真意を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 				登場人物の人物像や心情を読み取り、江田先生の真意を推察することができる。		
6月	評論 長谷川權 「和の思想、間の文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を的確に読み取らせ、筆者の主張をまとめさせる。 ・「和」と「間」の関係について理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 				日本と西洋で、感性や伝統の違いを感じさせるものをあげ、日本文化の特徴について考察できる。		
7月	評論 立松和平「幸せの分量」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を的確に読み取らせ、筆者の主張をまとめさせる。 ・出世を幸せと考えるサラリーマンと、平凡に生きた筆者の父について対比させて読ませる。 ・漢字・語句を習得させる。 				現代社会(競争社会)に目を向け、「幸せ」のあり方について考察できる。		
9月	小説 夏目漱石『ころ』	<ul style="list-style-type: none"> ・漱石の生きた明治という時代と、近代文学における漱石の位置づけを理解させる。 ・登場人物の関係を正しくつかませる。 ・「私」と「K」の心情を読み取らせる。 ・漢字・語句を習得させる。 				教科書収録部分「下」に至るまでの作品全体の概要を理解している。場面ごとの人物の心情を説明することができる。	49	
10月	小説 夏目漱石『ころ』	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」「K」の人柄、人物像から、心情を推測させる。また、比喩表現や、情景描写による暗示を読み味あわせる。 ・「K」の自殺と「先生」の自殺について考察させる。 				登場人物の言動から心情を把握し、説明することができる。		
11月	評論 山田昌弘 『家族化するペット』	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における「家族」の姿を考えさせる。 ・具体例の効果的な活用のしかたを理解しつつ、筆者の主張を丁寧に読み取らせる。 				ペットの家族化が示す社会の様相をふまえ、ではどのように対応してゆくべきか、自分なりの考えをまとめられる。		
12月	評論 山田昌弘 『家族化するペット』	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野に関心をもち、視野を広げさせる。 ・現代社会の問題について、筆者の主張を読み取らせる。 				身近な現代社会の問題について、自分の考えをまとめられる。		
1月	小説 浅田次郎『鉄道員』	<ul style="list-style-type: none"> ・時、場所、登場人物や情景、心情を的確にとらえさせる。 ・構成や表現の工夫について理解させる。 ・少女の言動が物語の伏線になっていることに気付かせる。 				主人公「乙松」の人物像を読み取り、頑固に仕事一筋に生きた男の姿を想像し、将来の自分の生き方について考えることができる。	20	
2月								
3月						計	105	

科目	日本史B					教科書名	新選日本史B(東京書籍)
履修学年	3年	単位数	2	必選	必修	副教材	日本史のアーカイブ(とうほう)
担当者	山岸樹						
教科目標	日本史の基礎的な内容を理解させ、歴史的思考力を養成する。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	1、条約改正	条約改正が必要な経緯と改正までの道程について理解する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	30
5月	2、帝国主義と日清戦争	19世紀の世界情勢と東アジアの様子、また日清戦争開戦の経緯を理解させる。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
6月	3、日露戦争と東アジアの変容	ロシアとの朝鮮・満州をめぐる対立と日露戦争後の東アジア情勢を地理的考察を重視して理解させる。					
7月	4、中華民国と韓国併合	19世紀初頭の東アジア情勢の変容と日本の政策について理解させる。ノート提出等も評価に加える。					
9月	5、桂園時代と第一次護憲運動	大正時代の民主化の様子を国民の運動や政党の動きと関連させながら理解させる。ノートやプリント提出も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	30
10月	6、第一次世界大戦～原内閣	第一次世界対戦とその後の日本経済の様子、政党内閣の成立の過程を理解させる。ノートやプリント提出も評価に加える。					
11月	7、世界恐慌と満州事変	世界恐慌が日本に与えた影響と関東軍の満州での動きを、経済的な視点を中心に理解させる。					
12月	8、軍部の台頭とファシズム	日本が軍部独裁に至り、日中戦争へ突入していく過程を国際情勢と経済の視点から理解させる。					
1月	9、第二次世界大戦の開始	第二次世界大戦と太平洋戦争とその開戦経緯を国際情勢と日本の資源獲得という視点から理解する。提出物も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	10
2月							
3月							
						計	70

科目	現代社会					教科書名	最新現代社会新訂版(実教出版)
履修学年	3年	単位数	3	必選	必修	副教材	ライブ! 2023(帝国書院)
担当者	中里 二美 常澤 明						
教科目標	現代社会の諸課題について考察し公正に判断できる力を養うとともに、考察を深める中で自らの在り方生き方を問い直す。そして合意形成を目指した議論を行う活動を通じて、自らが主体となって考え行動できる公民的資質を育成する。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	・オリエンテーション ・私たちの生きる社会 ・現代の社会と人間	・現代社会の諸課題について考察することを通じて、「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを理解する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・小テスト	12
5月	・現代の経済社会 ・1学期中間考査	・市場が需要と供給をつなぐ取引の場であり、需要と供給の均衡をもたらすことを、理解する。また市場の機能には限界があり、私たちの生活を豊かにするために政府の経済活動の重要性を認識する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出	12
6月	・日本経済の特質 ・日本経済と国民生活	・戦後日本の経済史について学び、産業構造や国際関係の変化による日本経済の課題について考察する。 ・私たちが経済活動を営むに当たり、どのような役割や責任を果たすべきか考察する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・小テスト	16
7月	・1学期期末考査 ・税作文の作成	・経済範囲を学習した上で改めて現代の税制度について考察を深め、自らが考える望ましい社会のあり方について構想し、作文にまとめる。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出	8
9月	・国際経済の動向 ・SDGsと日本の国際協力	・グローバル化の進展とともに、国際的な経済の相互依存関係が深まっていることを理解する。 ・SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けて日本が貢献できることについて構想する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・小テスト	12
10月	・日本国憲法の基本的性格 ・2学期中間考査	・条文を参照しながら、民主的な社会の基盤をなす日本国憲法について理解を深める。憲法が規定する基本的人権の保障について、人権問題に関わる具体的な判例を通じて理解する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出	13
11月	・平和主義と防衛問題 ・日本の政治機構	・日本の平和主義と自衛隊の役割について資料に基づき理解し、日本の防衛問題について考察を深める。 ・日本の政治制度である国会・内閣・裁判所の基本的な役割について理解する。□				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・小テスト	14
12月	・2学期期末考査 ・政党政治と政治参加	・国民主権が民主政治の根幹であるとの認識の上で、現在の我が国の選挙制度の仕組みについて理解する。政治参加の重要性について理解し、新聞やニュースなどを通じて、現実の政治の動きについて関心を深める。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出	10
1月	・国際政治の動向 ・学年末考査	・国際社会における国際法の重要性について理解するとともに、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、一人ひとりが主体となってどのような社会参加が可能か考察する。				・観察 ・ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出	8
2月							0
3月							計 105

科目	体育					教科書名	最新高等保健体育
履修学年	3年男子	単位数	2	必選	必修	副教材	最新高等保健体育ノート
担当者	加藤和輝 奥山峰志 杉山泰正 古畑孝太郎						
教科目標	1、健康・安全や運動の理解と運動の実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 2、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	○ソフトボール・テニスからひとつ選択 ○体育理論	バドミントン: 状況に応じたラケット操作を行い、仲間と連携しゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう バスケットボール: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 体育理論: 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解させる。				評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか	30
5月		スポーツテスト 全種目を受検させる。 受検できなかった生徒に、補習を行う。 ソフト: 状況に応じたバット操作、安定したボール操作でゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう。 テニス: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。					
6月	○スポーツテスト ○バドミントン・バスケットボールからひとつ選択	スポーツテスト 全種目を受検させる。 受検できなかった生徒に、補習を行う。 ソフト: 状況に応じたバット操作、安定したボール操作でゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう。 テニス: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。				評価の方法 1 関心・意欲・態度 日常観察 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 レポート等 4 思考・判断 日常観察	30
7月	○水泳	水泳: 複数の泳法で、効率よく長く泳ぐ。					
9月	○体育理論 ○【前期】 バレーボール、ハンドボール、サッカー、卓球からひとつ選択	体育理論: 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解させる。 ◎前後期にわたり、異なった種目を選択する。				評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか	30
10月		ハンドボール: 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする バレーボール: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームが展開できる。 サッカー: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 卓球: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。					
11月	○【後期】 バレーボール、ハンドボール、サッカー、卓球からひとつ選択	ハンドボール: 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする バレーボール: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームが展開できる。 サッカー: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 卓球: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。				評価の方法 1 関心・意欲・態度 日常観察 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 レポート等 4 思考・判断 日常観察	30
12月		ハンドボール: 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする バレーボール: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームが展開できる。 サッカー: 勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 卓球: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。					
1月							10
2月							
3月						計	70

令和5年度 年間授業計画

東京都立東村山高等学校

科目	体育					教科書名	最新高等保健体育	
履修学年	3年女子	単位数	2	必選	必修	副教材	最新高等保健体育ノート	
担当者	加藤和輝 奥山峰志 杉山泰正 古畑孝太郎							
教科目標	1、健康・安全や運動の理解と運動の実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 2、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定時数
4月	○バドミントン・バスケットボールからひとつ選択 ○体育理論		バドミントン：状況に応じたラケット操作を行い、仲間と連携しゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう バスケットボール：勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 体育理論：運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解させる。			評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか		
5月								
6月	○スポーツテスト ○ソフトボール・テニスからひとつ選択		スポーツテスト 全種目を受検させる。 受検できなかった生徒に、補習を行う。 ソフト：状況に応じたバット操作、安定したボール操作でゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう。 テニス：状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。			評価の方法 1 関心・意欲・態度 日常観察 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 レポート等 4 思考・判断 日常観察		30
7月	○水泳		水泳：複数の泳法で、効率よく長く泳ぐ。					
9月	○体育理論 ○【前期】 バレーボール、ハンドボール、サッカー、卓球からひとつ選択		体育理論 ：運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解させる。 ◎前後期にわたり、異なった種目を選択する。			評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか		30
10月			ハンドボール ：状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする バレーボール ：勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームが展開できる。					
11月			サッカー ：勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたボール操作によって関係プレイを組み立てゲームができる。 卓球 ：状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。					
12月	○【後期】 バレーボール、ハンドボール、サッカー、卓球からひとつ選択							
1月								10
2月								
3月								70

令和5年度 年間授業計画

東京都立東村山高等学校

科目	基礎現代文				教科書名	「新編 現代文B」大修館書店	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	プライム常用国語(第一学習社)・LT現代文基本(浜島書店)・新総合図説国語(東京書籍)
担当者	眞鍋香・持田はるな						
教科目標	現代社会を生きるうえで必要な国語の一般常識(漢字・語彙・文学史など)を身につける。 入学試験、就職試験に向けて、表現力(文章を書く力、話す力など)を養成する。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	5級までの漢字 慣用表現 文学史 読解の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 指示語や接続語、比喩表現など読解の基礎を身につけさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 指示語や接続語、比喩表現について理解している。 漢字や語句を書き、練習して覚えている。(定期考査・小テスト・ワーク・プリントなど) 		34
5月							
6月	5級までの漢字 慣用表現 文学史 随想 SPI3対策	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 随想の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> 随想の読解方法を理解し、演習に生かしている。 漢字や語句を書き、練習して覚えている。(定期考査・小テスト・ワーク・プリントなど) 		34
7月							
9月	4～3級の漢字 ことわざ 文学史 小説	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 小説の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> 小説の読解方法を理解し、演習に生かしている。 漢字や語句を書き、練習して覚えている。(定期考査・小テスト・ワーク・プリントなど) 		36
10月							
11月	4～3級の漢字 故事成語 文学史 評論	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 評論の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法を理解し、演習に生かしている。 漢字や語句を書き、練習して覚えている。(定期考査・小テスト・ワーク・プリントなど) 		36
12月							
1月	準2級の漢字 三字熟語 文学史 読解のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 さまざまなジャンルの文章の演習を行い、解答作成の手順を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> さまざまな文章の読解方法を理解し、演習に生かしている。 漢字や語句を書き、練習して覚えている。(小テスト・ワーク・プリントなど) 		8
2月							
3月							計 78

科目	コミュニケーション英語Ⅲ					教科書名	All Aboard English Communication Ⅲ	
履修学年	3年	単位数	3	必選	必修	副教材	ワークブック, リスニングパイロットlevel1	
担当者	石橋 田制 谷合							
教科目標	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 本文の単語の意味と発音を理解しながら、本文の内容を理解し、正しく音読できるようにする。 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。 							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	Lesson1 Mystery Circles under the Sea ・動詞の現在形・過去形		・アマモシゾラフグの生態について読み、その特徴を理解している。 ・動詞の現在形・過去形の意味や用法を身につけている。			課題を期日までに提出する。小テストで本単元の内容の問題を解答する。		
5月	Lesson2 Gifts to Barcelona ・現在完了形		・ガウディのデザインによるユニークな建築物の特徴とバルセロナにおけるそれらの意味について理解している。 ・現在完了形の意味や用法を身につけている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。自分の経験について現在完了形を用いて正確に表現できる。		35
6月	Lesson3 Images on Coins ・不定詞、動名詞		・硬貨、紙幣のデザインを通してその国や地域を象徴するものについて理解している。 ・不定詞、動名詞の意味や用法を身につけている。			聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。自分の好きなことや得意なことについて不定詞・動名詞を用いて正確に表現できる。		
7月	Lesson5 Love Letters ・関係代名詞		・手書きの手紙を送るハナさんの取り組みについて理解している。 ・関係代名詞の意味や用法を身につけている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。関係代名詞(制限用法)を用いて物の特徴を的確に表現できる。		
9月	Lesson6 The Natural Treasures of Ogasawara ・仮定法過去		・世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について理解している。 ・仮定法過去の意味や用法を身につけている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。仮定法過去を用いて現実には起こりえないことについて正確に表現できる。		
10月	Lesson6 The Natural Treasures of Ogasawara ・仮定法過去		・世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について理解している。 ・仮定法過去の意味や用法を身につけている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。仮定法過去を用いて現実には起こりえないことについて正確に表現できる。		40
11月	Lesson7 The Terracotta Warriors ・関係代名詞		・始皇帝やテラコッタの兵士など、中国の歴史についての英文を理解することができる。 ・関係代名詞の非制限用法を身に付けている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。関係代名詞(非制限用法)を用いて、物や前文に情報を追加することができる。		
12月	Lesson7 The Terracotta Warriors ・関係代名詞		・始皇帝やテラコッタの兵士など、中国の歴史についての英文を理解することができる。 ・関係代名詞の非制限用法を身に付けている。			聞いたり読んだりした内容について英語又は日本語で答えることができる。関係代名詞(非制限用法)を用いて、物や前文に情報を追加することができる。		
1月	Lesson8 The Journey of Our Clothes ・後置修飾の分詞		・エシカルファッションや洋服のこれからについて、英文で書かれた文章を理解することができる。 ・後置修飾の分詞を身に付ける。			聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。分詞の後置修飾を用いて、名詞を詳しく説明することができる。		20
2月	・3年間の総復習							15
3月								計 110

科目	発展現代文					教科書名	「新編 現代文B」大修館書店	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	論読 現代文2	
担当者	眞鍋 香							
教科目標	現代の評論や小説を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、国語に対する興味や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	テキスト「論読現代文2」 第1回～第3回の問題を予習し、授業 では班で話し合い一つの答えを導く。 漢字・語句 百字要約		<ul style="list-style-type: none"> ・問題提起や筆者独自の語句の意味を把握しながら、筆者の主張を読み取る。 ・他者との話し合いの中で「なぜ自分の答えが間違っているのか、自己分析する。学び合いながら、答えに至るまでの、解き方考え方を学ぶ。 ・百字要約の書き方を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 			自宅学習期間 提出物の内容 期限通りに提出できたか		34
5月								
6月	テキスト「論読現代文2」 第4回～第8回の問題を予習し、授業 では班で話し合い一つの答えを導く。 漢字・語句 百字要約		<ul style="list-style-type: none"> ・具体例と抽象的表現に注目しながら、筆者の主張を読み取らせる。 ・本文の描写から、人物像や心情の変化を読み取らせる。 ・百字要約の書き方を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 			テキストの問題の理解度 ワークシートの内容 提出物 授業態度・発言 定期考査		34
7月								
9月	評論・小説の読解演習(第9回～第12回) 漢字・語句 百字要約		<ul style="list-style-type: none"> ・対比の関係を把握し、筆者の主張を読み取らせる。 ・視点人物の人となりをおさえ、直接述べられている心情を読み取らせる。 ・百字要約の書き方を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 			テキストの問題の理解度 ワークシートの内容 提出物 授業態度・発言 定期考査		36
10月								
11月	評論・小説の読解演習(第13回～第17回) 漢字・語句 百字要約		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形式の文章を読み、論の展開を理解しながら筆者の主張を読み取らせる。 ・物語の背景や時間経過を把握しながら、登場人物の心情を読み取らせる。 ・百字要約の書き方を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。 			テキストの問題の理解度 ワークシートの内容 提出物 授業態度・発言 定期考査		36
12月								
1月	総復習テストとその解説		センター試験・共通テストの過去問題に取り組ませる。			テキストの問題の理解度 ワークシートの内容 提出物 授業態度・発言		8
2月								
3月								計 78

科目	国語表現					教科書名	大修館書店『国語表現』	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	数研出版『国語常識・作文 ステップアップ』	
担当者	小松 訓子							
教科目標	話す力と書く力を鍛え、進路活動に役立つ国語力を身につけさせる。							
	指導内容	具体的な指導目標		評価の観点・方法		予定時数		
4月	スピーチ(自己PR) 話し言葉と書き言葉	<ul style="list-style-type: none"> 自己の特徴を考え、表現させる。 自己の表現能力の実態を把握させる。 話し言葉と書き言葉の違いを理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自己の特徴をとらえ、表現能力の実態を把握している。 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、実際に使える。(スピーチ・ワークシート) 		34		
5月	小論文(情報・通信)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な小論文の段落構成を理解させる。 情報・通信に関する問題点と解決策を考えさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 小論文の基本的な書き方を理解して文章を書いている。 情報・通信に関して問題意識を持っている。(ワークブック・小論文) 				
6月	自己PR文 敬語	<ul style="list-style-type: none"> 自己の長所・短所を把握した上で、自己PR文を書かせる。 敬語表現を理解させ、会話の中で使えるようにさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 進学・就職先に合わせた自己PR文を書いている。 敬語表現を理解し、実際に使えるようになっている。(自己PR文・ワークシート) 				
7月	志望動機	<ul style="list-style-type: none"> 志望動機を明確にし、文章にまとめさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 進学・就職先に合わせた志望動機を書いている。(志望動機) 				
9月	面接練習(1)	<ul style="list-style-type: none"> 面接にふさわしい服装やふるまいを理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 面接時にふさわしい服装や、入室から退室までの流れなどの基本事項を理解している。(観察) 		36		
10月	面接練習(2) 小論文	<ul style="list-style-type: none"> 面接での基本的な質問事項の答えをまとめさせ、表現方法を工夫させる。 論理展開や文章の構成を意識しながら、相手を説得させるような文章の書き方を習得させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 質問事項に対する答えをまとめ、話し方や話す順序などを工夫している。 小論文・要約文の基本的な書き方を理解し、論理展開や構成を意識しながら文章を書いている。(観察・ワークシート・小論文) 				
11月								
12月	コラムを読む コラムを書く	<ul style="list-style-type: none"> コラムを読み、読者を喜ばせる文章の特性を理解させる。 題材や文体等を工夫し、コラムを書かせ、相互評価をさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を理解した上で題材や文体を工夫して書いている。(ワークシート・コラム) 				
1月	スピーチ (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションのテーマに合わせた情報収集について考えさせる。 情報の視覚化や効果的な話し方などを工夫させる。 		<ul style="list-style-type: none"> テーマに合わせて情報収集することができている。 表現方法が工夫されている。(ワークシート・スピーチ) 		8		
2月								
3月						計	78	

令和5年度(2023年) 年間授業計画

東京都立東村山高等学校

科目	世界史B					教科書名	高校世界史(山川出版社)
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	プロムナード世界史(浜島書店)
担当者	山口卓宏						
教科目標	世界史の全体像を把握し、各時代のイメージを具体的に思い浮かべられること、また、歴史的センスを身につけ、現代社会の中で主体的に生きることにかすことを目標とする。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	・2年次の復習	・2年次の学習の復習をし、近世以降の学習の準備をする。授業を予定していた範囲を書き写す。			・毎回のプリント記入チェック		30
5月	・ヨーロッパ近世の成立	・大航海時代とルネサンスを理解する。授業を予定していた範囲を書き写す。			・毎回のプリント記入チェック		
6月	・アメリカの成立と発展	・アメリカ独立革命を理解する。			・毎回のプリント記入チェック		
7月	・期末考査	・学習の定着を目指す。			・毎回のプリント記入チェック		
9月	・ヨーロッパの市民革命について	・ピューリタン革命とフランス革命を理解する。			・毎回のプリント記入チェック		30
10月	・ヨーロッパ諸国の海外進出	・ナポレオンや植民地獲得戦争を理解する。			・毎回のプリント記入チェック		
11月	・第一次世界大戦	・第一次世界大戦の原因と影響を理解させる。			・毎回のプリント記入チェック		
12月	・第二次世界大戦	・第二次世界大戦の原因と影響を理解させる。			・毎回のプリント記入チェック		
1月	・戦後の世界	・大戦後の世界と未来への展望を考える。			・毎回のプリント記入チェック		10
2月							
3月							
					計		70

科目	日本史B					教科書名	新選日本史B(東京書籍)
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	日本史のアーカイブ(とうほう)
担当者	小川 央						
教科目標	日本史の基礎的な内容を理解させ、歴史的思考力を養成する。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	1. 古代国家の形成と貴族文化の誕生	先史時代の日本列島の文化と生活とについて指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	30
5月	1. 古代国家の形成と貴族文化の誕生	律令国家の形成過程と古代文化の展開について指導するさせる。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
6月	1. 古代国家の形成と貴族文化の誕生	摂関政治期の政治と社会とについて、律令国家の日本化という観点から指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
7月	2. 武家社会の形成と生活文化のめばえ	院政期社会～鎌倉時代の中世社会の成立について指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
9月	2. 武家社会の形成と生活文化のめばえ	室町時代～戦国時代の中世社会のありようについて指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	30
10月	3. 近世社会の形成と庶民文化の展開	戦国時代後半のヨーロッパ文化との接触および織豊政権による国内の統一について指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
11月	3. 近世社会の形成と庶民文化の展開	幕藩体制の成立およびその特質について指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
12月	3. 近世社会の形成と庶民文化の展開	近世社会の発達と町人文化とについて指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。					
1月	3. 近世社会の形成と庶民文化の展開	幕藩体制の同様と庶民文化のありようについて指導する。ノート提出、プリント提出も評価に加える。				定期テスト、提出物 授業態度を見て総合的に評価	10
2月							
3月							
						計	70

科目	政治・経済					教科書名	政治・経済 (東京書籍)
履修学年	3年	単位数	2	必修	選択	副教材	
担当者	常澤 明						
教科目標	現代における政治・経済・国際関係などについて客観的に理解し、公正な判断ができる力を養う。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	民主政治の成立	・教科書を読んで政治・主権国家の概念と、民主政治の成り立ちについて理解する			・観察 ノート・プリントの記入 ・小テスト		26
5月	民主政治の基本原則	・教科書を読んで社会契約説や人権論の歴史的展開を学ぶと共に、現代社会における民主主義の特徴を捉え、各国の政治体制について理解を深める。			・観察 ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出		
6月	日本国憲法の基本原則	・日本国憲法の三大基本原則はどのようなものか理解する。			・観察 ノート・プリントの記入 ・小テスト		
7月	民主政治の取り組み 現代の国際政治	・国際社会における我が国の役割について考える。			・観察 プリントの記入 小テスト 出 ・ノート・ ・定期テスト、 ・ノート提出		
9月	現代の資本主義経済	・資本主義のしくみとその特徴を理解する。			・観察 ノート・プリントの記入 ・小テスト		34
10月	現代経済のしくみ	・市場経済の仕組みについて理解する。			・観察 ノート・プリントの記入 ・定期テスト、小テスト ・ノート提出		
11月	日本経済の発展と課題	・戦前・戦後の日本経済の特徴を理解する。			・観察 ノート・プリントの記入 ・小テスト		
12月	労働と社会保障	・労働問題を取り巻く現状について理解する。			・観察 ノート・プリントの記入 テスト、小テスト ・ノート提出		
1月	国際経済の課題	・国際経済における課題について考える。			・観察 ノート・プリントの記入 テスト、小テスト ・ノート提出		
2月							計 70
3月							

科目	数学 I 教養					教科書名	数研出版 最新数学 I	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	数研出版 ポイントノート数学 I	
担当者	大西 創 原 光樹							
教科目標	社会人としての教養として、最低限問題と向き合える素養を身につける。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> 数の計算 整式① 整式② 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算ができるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 1) 授業への取組み・態度と出席状況 2) 提出物 テキストと授業ノートの取組み状況 3) 定期考査の素点 		8
5月	<ul style="list-style-type: none"> 乗法公式 無理数 1次方程式 因数分解 <中間考査> 連立方程式 		<ul style="list-style-type: none"> 展開、因数分解の公式が使えるようにする。 $\sqrt{\quad}$の計算ができるようにする。 様々な方程式の解法を身につける。 					8
6月	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式①解の公式など 2次方程式②判別式 1次不等式 2次不等式 命題と論理 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な不等式の解法を身につける。 集合と命題の関係を理解する。 					10
7月	<ul style="list-style-type: none"> <期末考査> 関数とグラフ 2次関数 		<ul style="list-style-type: none"> 関数の意味を理解し、グラフをかける。 					6
9月	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の最大・最小 三角比 三角比の相互関係 正弦定理 		<ul style="list-style-type: none"> グラフを用いて、関数の最大・最小を求めることができる。 三角比が直角三角形の辺の比であることを理解し、図より三角比を求めることができる。 相互関係を用いて、他の三角比の値を求めることができる。 正弦定理を用いて問題を解決することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 1) 授業への取組み・態度と出席状況 2) 提出物 テキストと授業ノートの取組み状況 3) 定期考査の素点 		8
10月	<ul style="list-style-type: none"> 余弦定理 図形の計量 図形と角度 円の性質 <中間考査> 		<ul style="list-style-type: none"> 余弦定理を用いて、問題で与えられた辺や角以外の辺・角を求めることができる。 面積の公式より、三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 					8
11月	<ul style="list-style-type: none"> 百分率と歩合 濃度・速度 合同と相似 面積 体積 		<ul style="list-style-type: none"> 就職問題で頻出の問題に取り組むことができる。 図形の性質を用いて証明することができる。 これまで学んだ性質を用いて様々な面積や体積を求めることができる。 					10
12月	<ul style="list-style-type: none"> <期末考査> 総合問題① 		<ul style="list-style-type: none"> 2学期までに学習した内容を覚えており、就職問題に取り組むことができる。 					6
1月	<ul style="list-style-type: none"> 総合問題② 総合問題③ 就職試験 		<ul style="list-style-type: none"> 2学期までに学習した内容を覚えており、就職問題に取り組むことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 1) 授業への取組み・態度と出席状況 2) 提出物 テキストと授業ノートの取組み状況 3) 定期考査の素点 		6
2月								
3月								
計								70

科目	数学 I (受験)					教科書名	数研出版 「最新 数学 I」	
履修学年	3年	単位数	2	必修	選択	副教材	教科書・教科書傍用問題集「Study-Up 数学 I +A」	
担当者	大西 創							
教科目標	1学年で学習した数学 I についてより深く理解させ、発展的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的に考察し、処理する能力・受験に通用する力を養う。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	1. 数と式 (1)整式の加法と減法 (2)整式の乗法 (3)因数分解		・同類項をまとめるなど、整式における基本的な計算をすることができる。 ・置き換えや掛ける順序の工夫など、さまざまな工夫をすることで複雑な展開の問題を解くことができる。 ・2種類以上の文字を含む整式を、1つの文字に着目して降べきの順に整理することで、因数分解を行うことができる。			1) 出席状況・授業への取組状況 2) 提出物 ・問題集「Study-Up 数学 I +A」 ・授業用ノート 3) 定期考査素点		30
5月	(4)実数 (5)根号を含む式の計算		・実数内のあらゆる数の包含関係を理解し、問題によって必要な答えを判断することができる。 ・分母が根号を含む和差の形である分数を、有理化することができる。					
6月	(6)不等式の性質 (7)1次不等式 (8)絶対値を含む方程式・不等式 (9)集合		・連立不等式を、数直線を利用して解くことができる。 ・文章から、自らで不等式を立てることができる。 ・絶対値の性質を理解し、適切に絶対値をはずすことができる。 ・集合の表し方を見て、どんな要素が含まれているかをイメージすることができる。 ・命題と条件の違いを理解することができる。 ・命題や条件の真偽を判断することができる。 ・もとの命題と逆・裏・対偶の関係を理解することができる。					
7月	(10)命題と条件 (11)命題とその逆・対偶・裏							
9月	2. 2次関数 (1)関数とグラフ (2)2次関数とグラフ (3)2次関数の最大・最小 (4)2次関数の決定		・関数の定義を理解し、xの値に対応する関数の値を求めることができる。 ・直線と放物線のグラフを描くことができる。 ・2次関数の最大・最小を求めることができる。			1) 出席状況・授業への取組状況 2) 提出物 ・問題集「Study-Up 数学 I +A」 ・授業用ノート 3) 定期考査素点		34
10月	(5)2次方程式 (6)2次不等式 3. 図形と計量 (1)三角比		・2次関数のグラフとx軸との共有点が、2次方程式の解であることを理解できる。 ・基本的な2次不等式を解くことができる。 ・ $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の性質を理解でき、値を求めることができる。					
11月	(3)三角比の拡張 (4)正弦定理 (5)余弦定理 (6)正弦定理と余弦定理の応用 (7)三角形の面積		・鈍角における三角比を求めることができる。 ・三角形の辺の長さ、角度を求めることができる。 ・面積を求めることができる。 ・三角形の外接円、内接円の半径を求めることができる。					
12月	4. データの処理 (1)データの整理		・度数分布表、ヒストグラムを作成できる。					
1月	4. データの処理 (2)データの代表値 (3)データの散らばりと四分位数 (4)分散と標準偏差		・代表値の意味を理解し、求めることができる。 ・箱ひげ図を表すことができる。 ・分散、標準偏差を求めることができる。			1) 出席状況・授業への取組状況 2) 提出物 ・問題集「Study-Up 数学 I +A」 ・授業用ノート 3) 学年末考査素点		6
2月								70
3月								

科目	数学Ⅲ					教科書名	数研出版 「新編 数学Ⅲ」	
履修学年	3年	単位数	6	必選	選択	副教材	教科書・教科書傍用問題集「Study-Up 数学Ⅲ」	
担当者	原 光樹							
教科目標	基礎・基本の計算力および論理的な思考力の定着を図るとともに、日々の学習習慣を身につける。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	(3)関数		・簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解できる。			1)出席状況・授業への取組状況 2)提出物 ・問題集(Study-Upノート数学Ⅲ) ・授業用ノート 3)定期考査素点 4)家庭学習中の課題取組状況		20
5月	(4)極限		・合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。 ・数列の極限について理解し、求めることができる。 ・無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。					26
6月	(4)極限 (5)微分法		・関数値の極限について理解する。 ・関数の定数倍、和、差、積及び商の導関数の公式を導き、それらの公式を用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。					32
7月	(5)微分法 合成関数と逆関数の微分法 三角関数の導関数		・合成関数の導関数の公式を導き、この公式を用いて、やや複雑な関数の導関数を求めることができる。					14
9月	(5)微分法 指数関数の導関数 対数関数の導関数 第n次導関数 (6)微分法の応用 接線の方程式 平均値の定理		・合成関数の導関数の公式を導き、この公式を用いて、やや複雑な関数の導関数を求めることができる。 ・三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求めることができる。 ・ x, y の方程式で定められる関数の導関数を求めることができる。 ・媒介変数で表された関数の導関数を求めることができる。 ・いろいろな関数の導関数の公式を基にして、接線の方程式を求めることができる。			1)出席状況・授業への取組状況 2)提出物 ・問題集(Study-Upノート数学Ⅲ) ・授業用ノート 3)定期考査素点		26
10月	(6)微分法の応用 関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小 関数のグラフ		・平均値の定理について、図などを用いて直観的に理解できる。 ・いろいろな関数の導関数の公式を基にして、関数値の増減、極大・極小、凹凸などを求めることができる。 ・不定積分の基本的な性質を扱うことができる。					24
11月	(7)積分法とその応用 不定積分 不定積分と基本性質 置換積分法と部分積分法		・置換積分法や部分積分法を用いて、簡単な場合について不定積分や積分を求めることができる。 ・いろいろな関数について、置換積分法や部分積分法を適切に利用できる。 ・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。					30
12月	(7)積分法とその応用 定積分とその基本性質 定積分の置換積分法と部分積分法 面積 体積		・「平面図形」の面積を求めた方法を基にして、簡単な図形の体積を求めることができる。					18
1月	(1)複素数平面 (2)式と曲線		・座標平面上の点に複素数を対応させることにより、複素数平面の各点が複素数を表していることを理解できる。 ・複素数の極形式を用いて、複素数の積、商の幾何学的な意味を理解できる。 ・簡単な場合について、二項方程式の解を複素数平面上に図示し、累乗根をその幾何学的意味と関連付けて扱うことができる。 ・放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解できる。			1)出席状況・授業への取組状況 2)提出物 ・問題集(Study-upノート数学Ⅲ) ・授業用ノート 3)定期考査素点		20
2月			・二次曲線と直線との位置関係について考察できる。 ・媒介変数による表示の有用性を理解できる ・極座標の意味、直交座標との関係について理解できる。					
3月								計

科目	化学					教科書名	新版 化学 新訂版 (実教出版)
履修学年	3年	単位数	4	必選	選択	副教材	アクセスノート化学 改訂版 (実教出版)
担当者	齋藤 啓太						
教科目標	化学的な事象・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法	予定時数	
4月	酸化還元反応 酸化還元反応の応用	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の定義を理解し、酸化数の意味や酸化剤・還元剤について理解する。 金属のイオンになりやすさについて学ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席及び授業態度 レポートやノートなどの提出物を期限内に提出しているかどうか。 試験における達成度 	52	
5月	酸化還元反応の応用 有機化合物の分類	<ul style="list-style-type: none"> 電池の仕組み・法則を理解しその応用を学ぶ。 有機化合物を観察、実験などを通して探究し、物質に関する基本的な概念や法則を理解する。 					
6月	脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の性質を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。 有機化合物を実験を通して化学の本質を理解する。 					
7月	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 試験において授業の到達度を判断する。 					
9月	芳香族炭化水素 酸素窒素を含む芳香族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の実験、分子模型などにより理解する。 					
10月	無機化合物 非金属元素 化学反応と熱の関係	<ul style="list-style-type: none"> 無機化合物の実験・身近な話題などで化学の基礎を理解する。 反応熱を理解することで熱化学反応式やヘスの法則を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席及び授業態度 レポートやノートなどの提出物を期限内に提出しているかどうか。 試験における達成度 	64	
11月	無機化合物 金属元素 気体・溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> 無機化合物が身近な物質や話題などで興味をいだかせる。 ボイル・シャルルの法則や希薄溶液の性質を学ぶことで物質の状態や変化を理解する。 					
12月	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 試験において授業の到達度を判断する。 					
1月	無機化合物の総復習	<ul style="list-style-type: none"> 無機化合物の実験などを通して製品などにどのように応用されているか理解する。 					
2月							
3月							
計						140	

科目	生物				教科書名	スタンダード生物 (東京書籍)	
履修学年	3年	単位数	4	必選	選択	副教材	スクエア 最新図説生物neo(第一学習社)
担当者	向田 泰子						
教科目標	生物をミクロの視点見ることができ、生態をマクロの視点でとらえることができるようにする。 ミクロとマクロの生物のシステムを理解し、その中から、共通性と多様性を見出すことができるようにする。						
授 業 計 画							
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法	予定 時数
4月	第一編 生命現象と物質 ・細胞と分子 ・顕微鏡実習		・細胞の構造について、電子顕微鏡レベルで理解させる。			・出席及び授業態度 ・実験レポートの提出 ・プリントの提出 ・試験における達成度	10
5月	・代謝		・酵素の働き、生体内のタンパク質の役割について理解させる。 ・呼吸と光合成の課題について理解させる。				20
6月	・代謝		・呼吸と光合成の課題について理解させる。				20
7月	遺伝子のはたらき		・DNAの構造と複製の方法について理解する。 ・遺伝子の発現の方法を理解する。				10
9月	遺伝子のはたらき		・遺伝子の発現の調節とバイオテクノロジーについて理解する。			・出席及び授業態度 ・実験レポートの提出 ・プリントの提出 ・試験における達成度	18
10月	生殖と発生		・有性生殖の利点について考える。 ・動物の発生を理解する。 ・動物の発生のしくみについて理解する。 ・植物の発生について理解する。				20
11月	第三編 生物の環境応答 ・植物 ・動物		・生物が、如何に環境に適応し、生活しているかを理解させる。				22
12月	・生態と環境		・生態学において、生物の多様性の重要性を理解させる。 ・個体群と生物群集を理解する。 ・生態系の物質生産とエネルギーの流れを理解する。			・出席及び授業態度 ・実験レポートの提出 ・プリントの提出 ・試験における達成度	10
1月	生物の進化と系統		・生命の起源と変遷を理解させる。 ・進化のしくみを理解させる。 ・生物の系統関係を理解させる。				10
2月							
3月							
計							140

科目	物理					教科書名	高等学校改訂物理 (第一学習社)	
履修学年	3年	単位数	4	必選	選択	副教材	ステップアップノート物理改訂版(啓林館)	
担当者	橋本 明美							
教科目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常に起こる物体の運動やさまざまなエネルギーの現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身に付けさせる。 ・ 身近に見られる波、水面波、音、光などのいろいろな波について、共通の性質を観察、実験などを通して探究し、波動現象についての基本的な概念や法則を理解させる。 							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定時数
4月	第1章 運動とエネルギー(物理基礎)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の定義を理解する。 ・ なしうる仕事によりエネルギーが定義されることを理解する。 ・ 力学エネルギー保存則を理解し、力学的エネルギー保存則による運動の分析や、そのメリットを理解させる。 					
5月	第3節 仕事と力学的エネルギー							
6月	第I章 力と運動 第1節 平面運動と放物運動 第2節 剛体のつり合い 第3節 運動量の保存		<ul style="list-style-type: none"> ・ 物理基礎において学習済みの落体の運動を用いて、放物運動を理解する。 ・ 物体の大きさを考慮した場合について、物体を回転させるはたらきや、物体にはたらく力のつり合いを理解する。 ・ 物体が衝突したり、分裂する運動を理解し、力学的エネルギーの変化について考察する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席率及び授業態度 ・ 考査の達成率 ・ 実験レポートなどの提出物 		56
7月	第I章 力と運動 第4節 円運動と単振動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 周期的な運動をする物体の加速度や、はたらく力を理解する。 ・ 惑星が公転するときにはたらく力について考察する。 					
9月	第III章 電気と磁気 第1節 電場と電位		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気の原因となる電荷と電荷保存の法則を理解する。 ・ クーロン力、電場(電界)について理解し、電気力線・等電位線を扱えるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席率及び授業態度 ・ 考査の達成率 ・ 実験レポートなどの提出物 		68
10月	第2節 電流		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気回路に関する考察から、電流、電圧への理解を深める。 ・ キルヒホッフの法則を理解し回路に適用できる力を身につける。 ・ コンデンサーの構造と回路内での働きについて理解する。 					
11月	第3節 電流と磁気		<ul style="list-style-type: none"> ・ 磁石の性質を理解し磁気に関するクーロンの法則と磁場を理解する。 ・ 電流が磁場から受ける力、電流の作る磁場について理解する。 ・ レンツの法則、ファラデーの法則について理解する。 					
12月	第I章 運動とエネルギー 第5節 気体の性質と分子の運動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で体験する現象から、気体の法則について理解する。 ・ 気体分子の運動から圧力や温度について理解する。 ・ 気体の状態変化について理解する。 					
1月	第IV章 原子		現代物理学を学ぶにあたっての基本的な事項を理解する。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席率及び授業態度 ・ 考査の達成率 ・ 実験レポートなどの提出物 		16
2月								
3月								計 140

科目	理科基礎					教科書名	第一学習社 改訂 新生物基礎	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	実教出版 生物基礎 カラーノート	
担当者	小糸 恵							
教科目標	1年次の学習を基礎に、自然現象を科学的に捉える力を身につける。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	1 生物の特徴 ㊦ 生物の共通性と多様性		・すべての生物に共通する性質があることを見出させ、理解させる。			1. 発表、話し合い、実験操作		30
5月	・原核生物・真核生物の観察 ・顕微鏡の使い方		・共通性は共通の起源に由来することを関連付けて理解させる。			2. ノートやレポート、問題集などの提出物を期限内に提出しているかどうか。		
6月	① 生物とエネルギー ・カタラーゼの実験		・生命活動にエネルギーが必要であることを理解させる。 ・光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解させる。			3. 試験において授業の到達度を判断		
7月	2 遺伝子とその働き ㊦ 遺伝子とDNA ・DNAの抽出実験		・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見出させ、理解させる。					34
9月	① 遺伝情報とタンパク質の合成 ・細胞周期の観察 ・ユスリカのだ腺染色体の観察		・塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解させる。 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見出させ、理解させる。			1. 発表、話し合い、実験操作		
10月	3 生物の体内環境 ㊦ 情報の伝達 ・腎臓の観察		・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出させ、理解させる。			2. ノートやレポート、問題集などの提出物を期限内に提出しているかどうか。		
11月	① 体内環境の維持の仕組み		・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出させ、自律神経と関連付けて理解させる。			3. 試験において授業の到達度を判断		6
12月	㊦ 免疫		・遺物を排除する防御機構が備わっていることを見出させ理解させる。					
1月	4 生物の多様性と生態系 ㊦ 植生と遷移 ・学校内フィールドワーク ① 生態系と生物の多様性 ・校庭の光条件と植生調査 ㊦ 生態系のバランスと保全		・遷移の要因を見出させる。 ・植生の遷移をバイオームと関連付けて理解させる。			1. 発表、話し合い、実験操作		6
2月			・生態系における生物の種多様性を見出させ、理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。			2. ノートやレポート、問題集などの提出物を期限内に提出しているかどうか。		
3月			・生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解させる。 ・生態系の保全の重要性を認識させる。			3. 試験において授業の到達度を判断		
							計	70

科目	スポーツⅡ					教科書名		
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材		
担当者	加藤 和輝		古畑 孝太郎		新堀 陽子			
教科目標	1、健康・安全や運動の理解と運動の実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 2、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	【男子】①バレーボール		バレーボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームを展開できる。 バスケットボール 状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。			評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか		35
5月	【男子】②サッカー 【女子】バスケットボール							
6月	【男子】①サッカー							
7月	【男子】②バレーボール 【女子】バレーボール		サッカー 状況に応じたボール操作を行い、仲間と連携しゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう			評価の方法 1 関心・意欲・態度 日常観察 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 レポート等 4 思考・判断 日常観察		
9月	【男子】バスケットボール		バスケットボール 状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 サッカー 状況に応じたボール操作を行い、仲間と連携しゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう			評価の観点 1 関心・意欲・態度 主体的に取り組んでいるか 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 4 思考・判断 課題に応じた運動を継続するための取り組みができていますか		35
10月	【女子】サッカー							
11月	【男子】【女子】							
12月	バドミントン ハンドボール		ハンドボール ：状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする。 バドミントン ：状況に応じたラケット操作を行い、仲間と連携しゲームができるようにし、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう			評価の方法 1 関心・意欲・態度 日常観察 2 技能 スキルテスト 3 知識・理解 レポート等 4 思考・判断 日常観察		
1月								
2月								
3月						計		70

科目	音楽Ⅲ					教科書名	Joy of music (教育出版)	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	高校生のための音楽研究ノート	
担当者	尾花俊矢							
教科目標	生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 個性豊かな音楽の能力を高める。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	【歌唱】 ・ソルフェージュ(視唱、リズム) ・春よ、来い 【鑑賞】 ・ミュージカル 「オペラ座の怪人」 【鑑賞】 ・西洋音楽史 バロックから印象派の楽曲		【歌唱】 ・楽曲の旋律やリズムの特徴に気付き、それらを的確な音楽用語を用いて説明する。 ・曲趣に応じた発声を工夫し、楽曲のもつよさを味わうとともに、その特徴を生かして歌唱する。 【鑑賞】 ・ミュージカルとオペラの違いについて理解する。 【鑑賞】 ・西洋音楽史と各時代の歴史背景を理解しながら、音楽の特徴について理解する。			【歌唱】 ・実技試験 ・楽曲のもつ雰囲気や、楽曲から受ける印象を的確な言葉で表現しているか。 ・曲趣に応じた発声をしているか。 【鑑賞】 ・プリント感想		28
5月								
6月								
7月								
9月	【歌唱】 ・日本および世界の民謡 ・時代 ・I need to be in love ・Land of hope and glory 【器楽】 ・キーボード・ギター演奏 3つのジムノペティ 【鑑賞】 アメリカの音楽		【歌唱】 ・ジャンルによる発声法の違いを理解する。 【器楽】 ・バイエル初級程度の簡単な楽曲を演奏できるようにする。 【鑑賞】 1960年代の音楽			【歌唱】 ・実技試験 【器楽】 ・正しい音・リズムで演奏できているか。 ・正しい姿勢や指の形ができているか。 【鑑賞】 ・プリント、感想		36
10月								
11月								
12月								
1月	【創作】 ・ファンファーレをつくろう		【創作】 ・様々なファンファーレを鑑賞するとともに、ファンファーレにふさわしい旋律やリズムを理解して創作する。			【創作】 ・作品提出		6
2月								
3月								
計							70	

科目	音楽 I					教科書名	音楽 I 改訂版 Tutti【教育出版株式会社】	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	なし	
担当者	ペロー勲子							
教科目標	生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 個性豊かな音楽の能力を高める。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	保育士希望者のための器楽指導 (通年)		保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。(通年)			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組んでいるか ・音楽を愛好する心を常に有しているか ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする (通年) 		28
5月								
6月								
7月								
9月	保育士希望者のための器楽指導 (通年)		保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。(通年)			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組んでいるか ・音楽を愛好する心を常に有しているか ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする (通年) 		36
10月								
11月								
12月								
1月	到達度確認		保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。(通年)			<ul style="list-style-type: none"> ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする 		6
2月								
3月								
計							70	

科目	美術Ⅲ					教科書名	美術3 (光村図書)
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	なし
担当者	小野 征一郎						
教科目標	美術的な基礎力を発展させ、様々な制作を通して、自己の表現世界を探る。 鑑賞、美術史等の知識的学習から、教養を深める。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法	予定時数	
4月	○導入・表現基礎	・年間の予定について・表現について			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか ・色彩や構成を考え、創造的な表現の構想を練ることができるか ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)	30	
5月	○デザイン 「顔写真からの色彩構成」	・水張り技法を学ぶ					
6月	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・写真をよく観察することで細かい陰影をとらえ、トレースする ・テーマに合った色彩をバランス良く配置する ・丁寧にむらなく着彩する 					
7月		・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞する					
9月	○工芸 「陶芸① 一輪挿しの制作」	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の制作手順、陶土や釉薬の性質を学ぶ ・材料の特性を理解したうえで与えられたテーマに沿ってデザインし、効果的な表現方法を考える ・「用の美」を理解し、使いやすく美しい作品になるよう工夫する 			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか ・色彩や構成を考え、創造的な表現の構想を練ることができるか ・道具を正しく安全に使用しているか ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)	34	
10月	○鑑賞	・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞する					
11月		<ul style="list-style-type: none"> ・コラージュの素材の特性を理解し、与えられたテーマに沿って構成、効果的な表現方法を考える 					
12月		<ul style="list-style-type: none"> ・コラージュによってできた画面を利用して、ドライポイントの版画を作成する。 ・道具の安全な使用法を理解し、正しく使用して制作する 					
1月	○映像メディア表現 「コマドリアニメの作成」	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの原理を理解し、自分の想像した世界観を映像として作成する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか ・コマドリなどを工夫し、創造的な表現の構想を練ることができるか ・道具を正しく安全に使用しているか ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)	6	
2月	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞した上で感想を発表し合う 					
3月							
						計	70

科目	美術 I				教科書名	美術1 (光村)	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	なし
担当者	平城 佑里子						
教科目標	①様々な表現方法を理解する ②時間ごとのねらいや制作工程を理解し実践する ③意欲的に取り組む						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定時数
4月	○導入・表現基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の予定について・表現について ・名刺の制作 			<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習課題の提出(通年) ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか 		26
5月	○着色和紙コラージュ 「和紙コラージュ」	<ul style="list-style-type: none"> ・水張り技法を学ぶ ・動物の写真をよく観察することで輪郭をとらえ、トレースする ・イメージに合わせた和紙を着色する。 ・着色した和紙を切り取って、色彩をバランス良く配置し、コラージュする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・色彩や構成を考え、創造的な表現の構想を練ることができるか ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)		
6月	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞する 					
7月							
9月	○彫刻・立体的な制作	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特性を理解したうえで与えられたテーマに沿ってデザインし、効果的な表現方法を考える ・道具の安全な使用法を理解し、正しく使用して制作する 			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか ・色彩や構成を考え、創造的な表現の構想を練ることができるか ・道具を正しく安全に使用しているか 		30
10月	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞する 			<ul style="list-style-type: none"> ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)		
11月							
12月							
1月	○消しゴムはんこの制作 完成した作品を使用した平面作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の安全な使用法を理解し、正しく使用する ・色彩や構成を考え、スタンピングを工夫する 			<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学んでいるか ・課題の意図を理解しているか ・創造的な表現の構想を練ることができるか 		14
2月	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、作品を発表し、他者の作品を鑑賞する 			<ul style="list-style-type: none"> ・道具を正しく安全に使用しているか ・他者の作品を鑑賞することでお互いの良さを認め、生かすことができるか (通年)		
3月							
							70

科目	書道Ⅲ					教科書名	教育出版 書道Ⅲ	
履修学年	3年	単位数	2	必修	選択	副教材	なし	
担当者	大河原 達也							
教科目標	基礎能力を向上させ、芸術書、実用書への展開を図る。様々な技法によって書表現し、生涯に渡って書に対する興味を持てるようにする。書の文化や伝統を尊敬する心を育てる。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	暮らしの中の書 篆書、篆刻		用具、用材についても学習・工夫して書を生活の中に取り入れてみよう。 篆書体を理解し、各自の個性豊かな姓名印を作ってみる。			自宅学習課題の提出 授業態度 出席状況 制作進度 課題提出状況		32
5月								
6月								
7月								
9月	楷書、行書、隷書などの古典法帖を各自で選び、臨書作品を製作する。 (半紙、半切、半切1/2, 1/3, 1/4色紙、短冊など)		様々な紙形、紙大。 紙の種類等、筆の硬軟長短などの使い分け。 個性豊かな作品を製作する。			自宅学習課題の提出 授業態度 出席状況 制作進度 課題提出状況		32
10月								
11月								
12月								
1月	大字作品の製作、全紙に1文字で作品を書く。		力強い書を書いてみる。			授業態度 出席状況 制作進度 課題提出状況		6
2月								
3月								
計							70	

科目	コミュニケーション英語 I					教科書名	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	Watching Joyful, COMET基本文法定着ドリル
担当者	谷合・石橋・江島						
教科目標	基本事項で読めるやさしい英文を精読できるようにするとともに、基礎的英文法の定着を図る。						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	名詞の複数形、代名詞、基本語順 Watching Joyful (Unit1~2)	<ul style="list-style-type: none"> ●文法理解 学び直しの総まとめとして、名詞の使い方及び動詞の変化に焦点を当て指導する。毎回の授業内で復習や演習の時間を多くとり、確実な定着を図る。 ●長文読解 身近な話題の英文を読み、英語への興味関心を引き出す。ICT教材を用いて、視覚だけでなく、聴覚的な理解を促すような指導をする。 ●パフォーマンス JETとのTeam Teachingでは、コミュニケーション英語Ⅲの内容とも関連させ、海外の通貨や食事など、異文化理解を促すような活動を展開する。 				<ul style="list-style-type: none"> ●授業内考査 ●授業の取り組み(ワークシート、発言、ペアおよびグループワークへの参加) ●期末考査 ●提出物 	30
5月	be動詞、一般動詞、否定文・疑問文 Watching Joyful (Unit3~4)						
6月	過去形、過去形の疑問文・否定文 Watching Joyful (Unit5~6)						
7月	助動詞、助動詞の疑問文・否定文						
9月	進行形、進行形の疑問文・否定文 Watching Joyful (Unit7~8)	<ul style="list-style-type: none"> ●文法理解 動詞の変化に関しては継続して指導しつつ、不定詞や動名詞などを駆使し、まとまりのある内容を豊かに表現できるようにする。 ●長文読解 身近な話題の英文を読み、英語への興味関心を引き出す。ICT教材を用いて、視覚だけでなく、聴覚的な理解を促すような指導をする。 ●パフォーマンス JETとのTeam Teachingでは、コミュニケーション英語Ⅲの内容とも関連させ、日本や他国の文化を自ら発信できるような表現を学ぶ。 				<ul style="list-style-type: none"> ●授業内考査 ●授業の取り組み(ワークシート、発言、ペアおよびグループワークへの参加) ●期末考査 ●提出物 	32
10月	不定詞、3用法 Watching Joyful (Unit9~10)						
11月	動名詞 Watching Joyful (Unit11~12)						
12月	現在完了形、受動態 パフォーマンス活動						
1月	分詞、比較表現 パフォーマンス活動	<ul style="list-style-type: none"> ●文法理解 主語や目的語を詳しく説明するための表現として、分詞や比較表現を学ぶ。後置修飾の概念を理解したりや数的な大小を説明できるようになることを目標とする。 ●パフォーマンス JETとのTeam Teachingの総まとめとして、発表やペア活動など、発信を中心とした指導を主として行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ●授業の取り組み(ワークシート、発言、ペアおよびグループワークへの参加、パフォーマンステストなど) ●定期テスト ●提出物 	8
2月	3年間の総復習						
3月							
						計	70

令和5年度 年間授業計画

東京都立東村山高等学校

科目	コミュニケーション英語Ⅱ(上級英語)				教科書名		
履修学年	3年	単位数	2	必修	選択	副教材	Unite Stage 2, Grammar Station
担当者	石橋						
教科目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4技能の向上をバランスよく図る。 ・発展的な文法事項を重点的に指導し、日東駒専レベルの問題に対応できるような力を身に付けさせる。 ・本文の単語の意味と発音を理解しながら、本文の内容を理解させ、正しく音読できるようにする。 						
授 業 計 画							
	指導内容	具体的な指導目標				評価の観点・方法	予定時数
4月	4大品詞 5文型 長文読解	4大品詞(名詞・形容詞・副詞・動詞)及び5文型を学び、英語の根本的な文章作りを理解する。				問題演習、英文精読	7
5月	基本時制 完了形	基本時制及び完了形を理解し、時と場合に応じて適切に動詞を変化させることができる。				授業内考査	8
6月	助動詞	助動詞の概念を理解する。単純な助動詞の使い方だけでなく、ほかの文法との複合的な使い方を理解する。				問題演習、英文精読	8
7月	受動態	頻出する受動態の形に加え、一般的に書き言葉として使われることが多い形(進行形の受動態など)を理解する。いろんな文章の中で受動態の効果的な使い方を理解する。				期末考査	8
9月	不定詞 動名詞	動詞を変化させ、主語や目的語を豊かに表現するための方法を学ぶ。また、ニュアンスの違いなども身に付けさせる。				不定詞や動名詞を使った様々な文章に触れ、内容理解の問題に答える。	8
10月	分詞 分詞構文	分詞の基礎的な使い方に加え、副詞的表現である分詞構文、知覚・使役動詞に伴う分詞など、より複雑な構文を理解できるようにする。				確認テストを行ったり、英文を作って発表したりする。	8
11月	関係詞	関係詞の基本的な使い方を理解するとともに、制限・非制限の概念や文全体の修飾など、より発展的な文法を学ぶ。				関係詞が使われた文章を読み、内容理解の問題に答えたり、和訳をしたりする。	8
12月	比較	色んなものを実際に比較して文章を作っていく。				比較を使った文章を作り、発表する。	8
1月	仮定法	入試再頻出事項である仮定法について、基本的な使い方に加え、文章読解の際に必要な知識まで習得できるよう指導する。				仮定法の基本的な文に加え、If節の省略などを使った文を英作文する。	7
2月	総復習						
3月							
計							70

科目	子どもの発達と保育					教科書名	子どもの発達と保育(実教出版)	
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材		
担当者	高野 史子							
教科目標	乳幼児についての理解を深める。子どもについて、幅広い知識を身につける。							
授 業 計 画								
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法		予定 時数
4月	・生涯発達における乳幼児期の重要性 ・発達と環境		・乳幼児の心と体の発達を知り、保育者の重要性に気付く。 ・子供向けの工作などを通して、子供に季節感を体験させる工夫を考えさせる。			・知識理解を深めることができているか。用語の意味を理解し実生活に活かせるか。 ・積極的に授業に参加しているか。プリントは指示どおりに書けているか。 ・課題提出		26
5月	・発達観・児童観とは ・身体発育と運動機能の発達							
6月	・乳幼児期のからだの発育 ・上級学校による出張授業		・乳幼児の心と体の発達を知り、保育者の重要性に気付く。 ・1学期の学習内容を振り返り、期末考査に向けて学習する。			・提出物 授業プリント 製作物		
7月	・1学期のまとめ ・期末考査の実施 ・考査返却 答え合わせ		・1学期の学習内容を振り返り、期末考査に向けて学習する。キャリア教育の一環として被服製作に関わる仕事や保育士の仕事について学ぶ。(ビデオ学習)					
9月	・乳幼児期の発達の特徴 ・人間関係の発達		・基礎的な生活習慣や遊びについて理解する。 ・子どもの遊びに関して興味を持ち、目的にあった製作物を作る。 ・2学期の学習内容を振り返り、期末考査に向けて学習する。 ・おやつ実習を通して、子どもの食生活に興味を持つ。			・積極的に実習に参加しているか。		24
10月	・心の発達 ・子どもの健康と生活					・基礎的なことを理解し、自分の児童観、保育観を形成しているか。		
11月	・子どもの食事 ・子どもの衣服 ・子どもの遊びと生活					・目的にあった製作ができているか。		
12月	・2学期のまとめ ・期末考査の実施 ・考査返却 答え合わせ					・2学期期末考査		
1月	・卒業製作 ・子どもの健康管理 ・子どもの福祉		・1年間の学習内容を振り返り、保育に関するレポートをまとめる(製作含む)。			・積極的に卒業製作に取り組んでいるか。		20
2月	・卒業製作		・子どもの健康管理について理解する。 ・子どもの福祉について理解する。			・提出物 授業プリント 製作物		
3月								
計								70

科目	フードデザイン				教科書名	フードデザイン(実教出版)
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材
担当者	川上 璃子					
教科目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を習得させる。 ・ 現代の食生活に目を向け、問題を見つけ、自らの食事において創意・工夫する能力と態度を養う。 					
授 業 計 画						
	指導内容	具体的な指導目標			評価の観点・方法	予定時数
4月	・オリエンテーション ・料理の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次に学んだ知識を活かして実習を行う。 ・ 安全、衛生に注意し実習を行う。 ・ 調理実習の前の授業で作り方を学び、材料の特性を活かした調理をする。 ・ 洋食の特徴と調理方法を学ぶ。 			<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に授業に参加しているか。プリントは指示どおりに書けているか。プリントは授業時間内に提出できたか。 <p><調理実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に参加し準備から片付けまで率先して行っているか。 ・ 身だしなみが整っているか。 ・ 作り方を理解し、適切に材料を扱っているか。 <p>評価方法</p> <p>毎回の授業態度、プリント提出、感想の内容、レポートの内容</p> <p>期末考査</p>	22
5月	・洋食について ・洋食の実習					
6月	・中国料理について ・中国料理の実習 ・専門学校の講師による実習① ・和食の基本 ・和食の実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、衛生に注意し実習を行う。 ・ 調理実習の前の授業で作り方を学び、材料の特性を活かした調理をする。 ・ 包丁の技術を高める。 ・ 中国料理の特徴と調理方法を学ぶ。 ・ 和食の特徴と調理方法を学ぶ。 ・ 専門学校から講師を招き、プロの技術を学び、進学への意識を高める。 				
7月	・期末考査					
9月	・パンの実習 ・製菓の実習 ・専門学校の講師による実習②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、衛生に注意し実習を行う。 ・ 調理実習の前の授業で作り方を学び、材料の特性を活かした調理をする。 ・ 包丁の技術を高める。 ・ パンの作りの基本を習得する。 ・ 製菓の特徴と調理方法を学ぶ。 ・ 和食の特徴と調理方法を学ぶ。 ・ 専門学校から講師を招き、プロの技術を学び、進学への意識を高める。 			<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に授業に参加しているか。プリントは指示どおりに書けているか。プリントは授業時間内に提出できたか。 <p><調理実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に参加し準備から片付けまで率先して行っているか。 ・ 身だしなみが整っているか。 ・ 作り方を理解し、適切に材料を扱っているか。 <p>評価方法</p> <p>毎回の授業態度、プリント提出、感想の内容、レポートの内容</p> <p>期末考査</p>	28
10月	・和食の実習 ・製菓の実習					
11月	・洋食の実習 ・製菓の実習 ・中国料理の実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製菓の調理方法を学ぶ。 ・ 洋食の特徴と調理方法を学ぶ。 ・ 中国料理の特徴と調理方法を学ぶ。 				
12月	・日本の食文化と行事食 ・お節料理の実習 ・期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習の前の授業で作り方を学び、材料の特性を活かした調理をする。 ・ 行事食の起源や種類を学ぶ。 ・ 郷土料理や日本各地のお雑煮など調学ぶ。 				
1月	・製菓の実習 ・1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、衛生に注意し実習を行う。 ・ 調理実習の前の授業で作り方を学び、材料の特性を活かした調理をする。 			<p><調理実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に参加し準備から片付けまで率先して行っているか。 ・ 身だしなみが整っているか。 ・ 作り方を理解し、適切に材料を扱っているか。 <p>評価方法</p> <p>毎回の授業態度、プリント提出、感想の内容、レポートの内容</p>	20
2月						
3月						

計 70

科目	社会と情報					教科書名	新編社会と情報(東京書籍)
履修学年	3年	単位数	2	必選	選択	副教材	よくわかるWord2019 & Excel2019スキルアップ問題集(FOM出版)
担当者	中村 香奈子						
教科目標	情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成する。						
授 業 計 画							
	指導内容		具体的な指導目標			評価の観点・方法	予定 時数
4月	情報を整理して伝えよう 文書作成の基礎知識 文書の基本構成と種類 社内外文書の作成・校正		文書作成の基礎的な知識の習得			課題の進行状況	29
5月							
6月	情報をわかりやすく伝える 図作成・ワードアート機能 箇条書き・インデント・表組 DPI機能の活用		ワープロソフトの応用的な使い方を様々な作品制作を通じて学習する。			課題の完成度	
7月							
9月	社会の実践的な情報機器操作を学ぶ 見積書・納品書・請求書の作成 リスト集計・ピボットグラフとテーブル データベース操作 3D集計・データ統合		表計算ソフトの応用的な使い方を学ぶ。			課題の進行状況	31
10月						課題の完成度	
11月							
12月							
1月	まとめ 条件付き処理・順位付け 財務関数・ABC分析 報告書作成		高度な操作の習得とこれまでの学習内容を反映した報告書を作成する。			まとめレポートの完成度	10
2月							
3月							
計							70